

硝子体手術を受ける患者様へ

氏名()

主治医()

月日	/	/	/	/	/
経過	入院日	当日(術前)	当日(術後)	術後1日目	～退院日
検体・検査	検査は特にありません。				→
治療 (処置)	外来からの点眼を継続します。 術後術眼の点眼はいったん中止します。 16時、21時に、点眼のため、看護師がお部屋に伺います。	点滴があります。 手術搬入時に抗生素投与を開始します。 	術後は眼帯を翌朝まで装着します。	医師の指示により散瞳薬の点眼を行いに看護師がお部屋に伺います。 医師の診察後眼帯を外します。 診察後より4回/日の点眼を行います。 眼症状や、術後の経過により退院が決まります。	
薬剤・内服	持参薬は継続して内服します。血糖のお薬等は中止する場合がある為、医師に確認します。	朝、持参薬を内服します。 散瞳薬の点眼のため、看護師がお部屋に10～20分ごとに伺います。		術後1日目より術後の感染予防として3日間抗生素の内服を開始します。 1日4回の点眼を開始します。 (6時、11時、16時、21時)	→ →
活動	→				
食事	21時から絶食です。	朝6時以降は、絶飲食です。	術後3時間後に飲水し、問題なければ夕食から食事開始となります。		
排泄	排泄に制限はありません。				
清潔	入浴可			目に圧がかかったりしないよう術後の保護のため、上向き洗髪になります。 洗顔は退院後の外来までできず、顔を拭く程度が可能です。	
説明・指導	手術の前日に、手術日の朝からの流れと、食事や点滴、点眼の時間について説明があります。 看護師・事務員より、入院生活についての説明をします。		術後、目の保護の為、保護板を使用していますので、トイレなどの歩行の際には、転倒に注意してください。 転倒の危険がある場合には、看護師が付き添いますので、お知らせください。	看護師より点眼の内容、時間、点眼の方法を説明し、自宅で点眼ができるよう指導を行います。本人のみでは不安な時は、家族様への説明も行います。 また次回の外来受診まで下向きでの洗髪や洗顔が出来ないなどの退院後の生活での注意点を説明します。 点眼薬の説明や抗生素の説明は薬剤師が説明します。	退院が決まりましたら、退院後の生活や次回の外来日程について看護師より説明いたします。 お会計は、退院前日に概算をお知らせいたします。退院日の会計は、当日に事務員がお知らせにまいります。